

長崎市提案型協働事業 平成 25 年度実施事業 評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	トムテのおもちゃ箱	担当課名	子育て支援課
事業名	地域のおもちゃ箱発掘事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	A
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	A
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	B
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	A
総括		A	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている

B…優れている

C…どちらともいえない

D…どちらかといえば不十分である

E…不十分である

◆審査会コメント

協働事業を進めていく中で、お互いに目的を共有し、コミュニケーションを取りながら事業を進めていたことは評価できる。

また、事業内容については、「支援される側」にある育児中の保護者を「支援する側」へと育成していくという目的に沿って、平成24年度の講座の受講生を平成25年度には支援する側の人材として活用するなどの2年度目としての取り組みに、団体の努力が感じられ、非常に評価できる。

本事業を通して、団体が成長していると感じられることから、今後はさらに関係団体をリードするような団体へなっていくことに期待したい。

事業自体は終了となるが、担当課として本事業の有効性を認識したのであれば、その成果を今後の子育て施策に活かすような動きが早く出てくることが望まれる。

長崎市提案型協働事業 平成 25 年度実施事業 評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	現川川をきれいにしよう会	担当課名	農林整備課
事業名	現川町地域の活性化に向けた美化推進事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	A
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	A
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	B
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	A
総括		A	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

事業の目的を共有し、明確な役割分担のもと事業が実施されたことは評価できる。

団体側において、きちんとした事業計画が立てられており、安全面の確保を行いながら適正に実施がなされていたことについても非常に評価できる。

地域を巻き込みながら事業を実施していくなかで、コミュニティの充実にまで繋がってきていることは素晴らしい成果と考える。

本事業は、地域における林道整備のモデルケースとして実施していることから、担当課には本事業の検証を行い、各地域の実情に応じた導入ができるような仕組みが確立されることが望まれる。

長崎市提案型協働事業 平成 25 年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	(特非) 市民後見人の会・ながさき	担当課名	高齢者すこやか支援課
事業名	市民後見人候補者養成および成年後見制度普及事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。 	B
②	目的・目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。 	A
③	市民の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。 	B
④	協働の相乗効果	<ul style="list-style-type: none"> ・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。 	A
総括		B	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
 D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

お互いの違いに気付き、意見を交わすことで、相互理解を深めながら事業を進めていったことは協働のプロセスとして評価できる。

豊富な事業内容であったが、団体と担当課とがそれぞれの役割をしっかりと担い、ほぼ計画通りに進められており、一定の成果が上がっていると考えます。

提案型協働事業としては終了となるが、担当課が引き続き市民後見人候補者養成講座を実施していくことになったのは本事業の成果のひとつとして評価できる。

今後も引き続き両者の連携していくことに期待するとともに、本事業を通してできた関係機関とのネットワークをもとに、市民後見人候補者への一貫した支援体制が築かれていくことを望まれる。

長崎市提案型協働事業 平成 25 年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	(公財)ながさき地域政策研究所	担当課名	健康づくり課
事業名	慢性腎臓病（CKD）予防啓発事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	B
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	B
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	B
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	B
総括		B	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

事業についての共通理解を深めるために、本音をぶつけあったことで、良い信頼関係を築けたことは評価できる。

本事業においては、医療専門でない団体と協働したことで、幅広い分野の団体・企業での意見交換会が実施できており、協働の効果として評価できる。

完成したツールについては、現時点で活用が不十分であると思われるため、今後積極的な活用が望まれる。

提案型協働事業としては終了するが、担当課が引き続き実施していく意見交換会については、両者が連携し幅広い世代へ慢性腎臓病の予防啓発がなされていくことに期待したい。

長崎市提案型協働事業 平成 25 年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	長崎史談会	担当課名	観光政策課
事業名	まちなか魅力新発見事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	B
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	B
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	B
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	A
総括			B

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

事業の目的や進捗をお互いに共有しながら取り組んでいたことについて評価できることから、今年度も十分な協議を行いながら事業を進めていくことを期待したい。

担当課の長が完了報告を行ったことで、事業の懸案事項に対する今後の方向性等が明確に示されたことも評価できる。

歴史・文化から地域の資源を掘り起こすという活動は非常に意味のあるもので、事業の重要性についても共感できることから、冊子に掲載できなかった情報を含め本事業を通して収集した情報については、今後ホームページでの情報発信等に広く活用されることを望まれる。

聞き取り調査の方法、情報の活用方法など平成25年度の反省点などをきちんと検証し、平成26年度の事業実施に活かしていくことに期待したい。